



稼げる! プロコン育成塾

稼げる! プロコン育成塾 22期 第6回講義、次のとおり報告します。

■実施要項

開催日時: 2022年11月26日(土) 10:00~17:30

開催内容: コースマスター講話

コースマスター: 太田一宏

【診る】診断の基本(ヒアリングの項目検討の仕方) 講師: 木村 洋一(14期)

【聴く】傾聴スキル 経営相談

講師: 志倉 康之(12期)

■講義レポート

11月26日土曜日に「稼げる! プロコン育成塾」22期の第6回講義を開催しました。今回は“診る”・“聴く”の座学中心にしたカリキュラムです。次回以降に予定されている診断実習やロールプレイの前提知識の学習です。

1. コースマスター講話

月刊「企業診断」11月号の特集「これが『稼げる診断士』だ2022」は、稼プロ! 卒業生中心に執筆されました。太田コースマスターは、この最終章を担当。「稼げる特集」奮闘記」と題し、「誰に書くか、どのように書くか、何を書くか」のお話がありました。

「誰に書くか」: 最終ターゲットは中小企業診断士でステップアップを目指す方ですが、読者に届く前手で読む編集者や監修者を意識することが重要です。監修者がどのような思いで読み手に届けたいと考えているかを考慮し、その期待に応えるようレベルが高いものを提供する必要があります。

「どのように書くか」: 担当した最終章(第5章)は「まとめる」という視点を意識しました。前の4章から5つのポイントを抽出し、章の前半に共通点3点、後半は診断士に生かすポイント5点という枠組みとすることを決め、内容は後工程で考えることにしました。

「何を書くか」: 4つの記事を生かすことを考えました。60~70カ所をマーキングし、KJ法でグルーピングを行い、レジユメの小見出しに抽出します。さらに、三意+謝意、本質で再仕訳を行いました。この過程で、余計なものが削ぎ落され、主張の根拠や輪郭が明確になります。無駄な言葉が無くなる。シャープな文章になる効果があります。

執筆は必ずしも中身から先に作らなくてもかまわないということです。今回のポイントは、誰に、型を重視、素材を生かす、の3つ。この視点を、これから始まる小論文課題の相互添削に生かしてほしいと塾生に伝えました。



太田コースマスター

2. 【診る】診断の基本（ヒアリングの項目検討の仕方）

講師：木村 洋一（14期）

前半の講義は、稼プロ！の14期生の木村洋一講師による、「診断の基本」です。木村講師は、長く食品業界の中小企業に勤められ、現在は数多くの中小零細企業を支援されています。今回は、「ヒアリング項目の検討の仕方」、「中小企業のビジネスの考え方」、「強み・SWOT・ドメイン」、「提言骨子の組み立て」の4つのテーマをお話いただきました。

木村講師の講義の特徴は「一次試験知識の活用」と「熱量」。講義では、SWOT、クロスSWOT、バランススコアカード、5フォース、売上構造など一次試験の内容が次々と繰り出されます。診断の基礎がまさに一次試験知識にあることを実感する内容でした。また、経営資源が限られている中小企業にどのように寄り添って仮説を策定し提言するのか、ご自身の経験にもとづいた具体的で熱いお話しはとても説得力のあるものでした。

今年から新たに追加された「提言骨子の組み立て」では、実際のケーススタディを元に、ヒアリング内容から提言骨子を立案し、チャート図・ビジネスモデル図に展開するグループ演習です。塾生は最初苦労していたものの、一次試験知識のフル活用を意識することで、論理だった提案骨子を見事完成させました。一次試験知識の有効性を実感できた様子です。この経験を次回の実務実習にぜひ生かしていただきたいと思います。



木村講師

3. 【聴く】傾聴スキル 経営相談

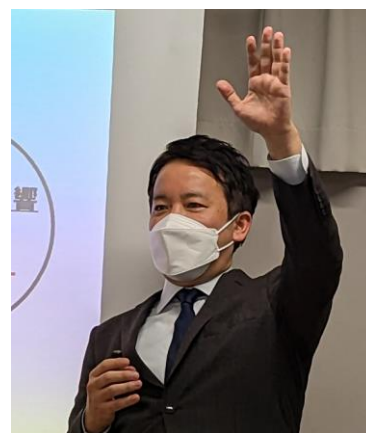
講師：志倉 康之（12期）

後半の講義は、稼プロ！12期生の志倉康之講師による「傾聴スキル・経営相談」です。志倉講師は、企業研修や企業・個人のコンサルティング、執筆など幅広く活躍されています。講義冒頭、「稼げる」プロコンは外部環境に関係なく結果を出せると明言。その「稼げる」プロコンが持つ経営相談（傾聴）スキルの特長と、稼ぐための武器についてお話いただきました。

「稼げる」プロコンに必要なスキルは、経営相談（傾聴）を通して経営者に「自分（経営者自身）は凄い！」と思わせること。そのためには、聞き手の隠れたポテンシャルを引き出すコーチングスキルが重要であり、さらにコーチングスキルを向上させるには、経営者の承認欲求を満たす傾聴スキルが不可欠とのことでした。

また、プロコンの個別面談では、単に仕事への導きだけではなく、仕事を通して「ありがたい姿」にどう向かっていくか導くことが重要とのこと。この「ありがたい姿」は、ドキドキワクワクといったレベルでなく、「鼻血が出る」くらい考え抜かれたものである必要があります。そのためには、日頃からバケツ（脳）に水（知識）を入れ、1日5分でもビジョンを考える時間を確保することが重要と話されました。

今回の講義は「稼プロ！」ということで、「ここまでやれたらどこまで稼げる」といった語り口で、ご自身の経験を交え溢れる臨場感でお話いただきました。とてもパワフルな講義で、塾生も3月のロールプレイに向け、あらためて力が湧いてきた様子でした。



志倉講師

■次回の案内

次回、第7回講義は2023年1月28日、内容は以下のとおりです。

・【診る】診断の手順およびヒアリング準備、診断実習

講師：木村洋一（14期）
（事務局：大井秀人（20期））

以上